

Rotary Club of



国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報

vol. **03**⁺

会員数 98 名

免除出席者 3 名

正会員出席者 54 名

出席者 57 名

早退 0 名

出席率 60.00%



プログラム
点鐘(12:30)／ロータリーソング(それでこそロータリー・四つのテスト)／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘(13:30)＜司会:島村拓史SAA＞

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人

《ビジター・お客様紹介》

田村宏ガバナー補佐（川越西 RC）
清水洋子地区代表幹事（2570 パスポートクラブ）
日向秀一地区幹事（2570 パスポートクラブ）
村田明美地区幹事（2570 パスポートクラブ）

《卓話講師紹介》

村田貴紀ガバナー（2570 パスポートクラブ）

《会長挨拶》



皆さんこんにちは。本日は国際ロータリー第 2570 地区村田貴紀ガバナー公式訪問例会です。本日の公式訪問例会に先立ち、先週は田村宏ガバナー補佐にご訪問いただきありがとうございました。ご案内の通り、当クラブは昨年創立 70 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに当クラブの先輩方や 2570 地区の皆様方のお力添えの賜物であり、心から感謝を申し上げます。

また、本年、川越市は市制施行 100 周年という記念の年でもあります。川越市は、今、様々な媒体で宣伝をしていただき、蔵造りの街並みを中心に沢山の観光客が訪れています。蔵の会のメンバーの方々や当クラブの今は

亡き可児一男先輩が県と市と協力して蔵造りの街並みを造成、整備していただいたお陰で、今、この様に非常に活性化しております。観光協会の会長その他、当クラブから多くの方が出ておられますが、その皆様方の努力によって、蔵造りの街並みが整備された訳です。平成 19 年には、天皇皇后両陛下にも街並みを散策いただきました。

今年は、このコロナが大変蔓延しております。急激に、また増えていますが、そんな中、今年は百万灯夏祭りや川越まつりも 3 年ぶりに開催される予定です。私は、そんな川越に必要とされるロータリークラブであり続けるために、これからの一年間、一所懸命頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。ご来賓の皆様方には、川越は見どころが沢山ありますので、お時間がありましたら、是非、ご観光いただければ大変ありがたいと思います。

さて、本日、例会に先立ちまして、会長、幹事との懇談会、また立原パストガバナー、相原パストガバナーにもご挨拶いただきました。その後、3 年未満のメンバーとの懇談会も開催させていただきました。このメンバーとの懇談会で、村田ガバナーが 51 歳という若さだということが分かりまして大変ビックリしましたが、当クラブにも同じ世代のメンバーも沢山いますので、これからは、若い人が早く地区や世界に出て行って、奉仕や友好を深めることが大事だと感じました。ガバナーから、地区のことやロータリーについてのご経験やご意見を聞くことが出来て、大変参考になりました。

日本のロータリークラブは、東京ロータリークラブが 1920 年（大正 9 年）10 月 20 日に、世界で 855 番目のロータリークラブとして創立しました。現在、日本のロータリークラブは、2,223 クラブ、会員数は 84,232 人だそうです。

す。そして、日本には 34 の地区があり、それぞれの地区に代表がいます。その代表がガバナーです。2570 地区には 50 のクラブがあり 1,588 名の会員がおり、村田ガバナーが地区を引っ張っていかれます。ご苦労がおりとは思いますが、是非、よろしくお願いします。

また、ガバナー補佐の一人が田村さんです。よろしくお願いいたします。ガバナーの役割は、国際ロータリーの役員として、地区の運営に関わる大事な役割です。また、ガバナー公式訪問例会に関しましては、この地区の全てのクラブにこれから訪問されますので、大変ハードなスケジュールとは思いますが、体に気を付けて、頑張ってくださいと思います。

皆様には、この後の卓話をご期待いただきたいと思いますし、ガバナーには楽しんでいただければと思いますので、よろしくお願いします。

幹事報告

2022-23年度 幹事 野溝 守



新会員につきましては、ご異議がありませんでしたので、入会手続きを進めます。

この後、オリエンテーションを行い、7 月 26 日の例会よりご出席いただく予定です。

配布物：ハイライトよねやま 268 号
次週納涼家族夜間例会は、18 時の点鐘で、3 階のプリンスホールになります。

委員長報告

○米山記念奨学委員会 山崎共子委員長



7 月 10 日（日）にアルカーサル迎賓館川越にて米山記念奨学委員会セミナーが行われました。村田ガバナーの開会点鐘により始まりました。水村パストガバナーの危機管理についてのお話がありました。また、奨学生による「ロータリー米山記念奨学生になって」と題した 3 分間スピーチがあり、川越ロータリーのミンちゃんは、トリを務め大変ユニークなスピーチで、皆の笑いをとっていました。

○職業・社会奉仕委員会 八木拓也委員長

スナッグゴルフは、今期、当クラブの重点奉仕事項になっています。つきましては 8 月 8 日（月）に川越ヒューチャーカップと銘打ちまして、第 1 回のスナッグゴルフ大会が開催されます。

川越市内はもとより、狭山市からも子供たちが集まり、総勢 100 人という大きな大会となります。参加者は全て小学生になります。大人、特にゴルフの好きな方は、ゴルフのマナーを子供たちに伝えるという意味でご協力を賜りたいと思います。集合は霞ヶ関カンツリー倶楽部ドライビングレンジ前で朝 7 時集合です。午前中で終了する予定ですので、皆様、奮ってご参加のほどよろしくお願いいたします。

○親睦委員会 小林勇次郎委員長



●7 月のお祝い（敬称略）
〈誕生日〉：六花亭のお菓子
井上 實、糸原恒久、橋本定寛、西澤堅、栗林茂、福岡央、佐藤秀旺、島村拓史、小川修一郎、天野博章
小橋誠、久保田誠

〈配偶者誕生日〉：お花

三室戸東光夫人久子、鈴木健二夫人鎮恵、石井成人夫人もと子、佐藤道晴夫人裕子、沢田通夫人裕美子

〈結婚記念日〉：鏡山酒造日本酒

今泉清詞、小林勇次郎、天野博章

○次週卓話：親睦委員会 小林勇次郎委員長

次週納涼家族夜間例会は、18 時に点鐘です。親睦会は 18 時 30 分～ 40 分開始の予定です。親睦委員皆で、楽しく和やかな会を企画していますので、是非、奮ってご参加ください。

ニコニコボックス

○ニコニコボックス委員会 小川修一郎委員長

●第 2570 地区村田貴紀ガバナー、川越ロータリークラブ公式訪問例会よろしくご指導の程お願い致します。＜会長／幹事＞

●田村宏ガバナー補佐、清水洋子地区代表幹事、日向秀一地区幹事、村田明美地区幹事、公式訪問例会ご出席ありがとうございます。＜会長／幹事＞

●村田ガバナー、田村ガバナー補佐随員の皆様、川越ロータリークラブにようこそ。心より歓迎申し上げます。＜パストガバナー 今泉清詞＞

●村田ガバナー公式訪問、ようこそ川越 RC！！今の難しい時代、ロータリークラブも新時代！＜パストガバナー立原雅夫／相原茂吉＞

●村田ガバナー、田村ガバナー補佐、随員の皆様川越ロータリークラブへようこそ。心より歓迎申し上げます。＜片山／水村／吉澤／小高／西川／山崎／島村／青柳／齊藤（智）／西澤／山田（哲）／山田（和）／芳野／天野／今泉（博）／小杉／栗原／藤井／小谷野／伊藤／住谷／坂口／佐藤（文）／栗林／小川／久保田／小林／金剛＞

●“ジェニファー・ジョーンズ”皆さん憶えていますか？香港を舞台にした 1955 年のアメリカ映画「慕情」の主演女優です。テーマ曲は” Love is a many splendored thing”それがなんと今年度の R I 会長（同姓同名）ですから驚きです！！＜藤井／西澤／小杉／伊藤／片山／水村／今泉（博）／立原＞

●誕生日のお祝いありがとうございました。家族みんなに祝ってもらえました。＜天野＞

●誕生日のお祝いありがとうございました。家族でおいしくいただきました。＜小川＞ 【合計 5 5, 0 0 0 円】

卓話

第2570地区 **村田貴紀** ガバナー

皆様こんにちは。国際ロータリー第 2570 地区ガバナーの村田貴紀です。1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。川越ロータリークラブは公式訪問の第一回目で、若輩者ですけれどもよろしくお願いします。埼玉県には 2570 地区と 2770 地区がごございますが、埼玉県で最初に出来たのが川越ロータリークラブで、親クラブが東京ロータリークラブです。

まず、私の自己紹介ですけど、1971 年 1 月 11 日生まれの 51 歳です。この様な大役をお受けして、自分で出来るのかとか様々な思いを巡らしているところです。ロータリーに入会したのは 37 歳の時です。その 1 年後に、これからのロータリーはロータリー財団だと言われ、何も分からないまま地区出て、それからずっとロータリー財団で頑張っています。2019 年に鈴木ガバナーのもと、ガバナー補佐をやらせていただき、今に至っています。

今年度の国際ロータリーのテーマは「イマジン ロータリー」です。今年度国際ロータリー会長であるジュニア・ジョーンズ会長は、カナダのオンタリオ州にあるウィンザー・ローズランド・ロータリークラブの会員です。メディア・ストリートという会社の創業者兼社長であり、ウィンザー大学の理事長など様々な職歴をお持ちの方です。「過去は想像出来ません。未来を想像してください。」と常々集まりのたびにジョーンズ会長は申されています。国際協議会で研修を受け、RI の年次目標達成に向けた地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう！」とさせていただきました。一人ひとりが、明るい未来を想像し奉仕をすることが重要だと思っています。

「イマジン ロータリー」、このテーマは、2022 年 1 月 20 日に発表されました。ジョーンズ会長は、「大きな夢を抱き、行動を起こすこと」をロータリー会員に求めています。「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を、私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」と語っています。

また、今年度のロゴにも多くの意味が込められています。オーストラリア先住民族の現代アート、デザイン、コミュニケーションを専門とするアーティストでグラフィックデザイナーのリキ・サラム氏によってデザインされました。サラム氏は、メルボルンで開催される国際大会のロゴも手がけております。二つのロゴを視覚的な共通言語で結び付けています。

このロゴは、先住民の文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、7 つの点は「人」をあらわすと同時に、ロータ

リーの 7 つの重点分野を表わしています。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道標になります。

その下の太い線は、いわゆる「掘り出し棒」で、力仕事をするときに使うものです。行動を起こす人たちであるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

色についてですが、緑、紫、白の 3 色は、必ずしもアボリジニ文化とは関係がありません。ジョーンズ会長は、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色（一つでも、三つすべてでも可能）を使うよう 2022-23 年度ガバナーに要請しています。それで、私も本日は少し紫っぽいブルーのスーツを着させていただきました。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ会長は説明をされておりました。色の解釈は何通りかあります。例えば、紫は「ポリオ根絶」、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」を表わしています。また、この 3 色を合わせると、女性参政権運動「サフラジェット」の色になります。これは、ジョーンズ会長が初の女性 RI 会長となることから、さりげなくその歴史に触れているのだと思います。

ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるために、「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女兒のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の 4 つの会長イニシアチブに注力することを求めています。

では、何を、どの様にすればとの疑問が生じます。知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること。これは皆さんご存じのロータリーの目的の第 1 項に書かれています。ロータリーは「親睦」と「奉仕」です。「親睦」と「奉仕」を結びつけるのが「寛容」であると、創設者のポール・ハリスは語っています。両者は両輪として直進して、最初の動力伝達は「親睦」からとの言葉も残しています。

昨今では、国際ロータリーとロータリー財団も両輪と言われています。「親睦」は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識してください。単にクラブのみに限定されることなく、広く世界に友情と親交の和を広げるために、全ロータリアン対象のロータリー親睦活動があることを周知してください。

RI の国際部門におけるロータリー親睦活動は、常設プログラムとなっています。国際奉仕という、とすれば従来の世界社会奉仕に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われがちですが、国際奉仕は、ロータリーの目的第 4 項の表現を借りますと「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあるように、ロータリー親睦活動は、その一環です。

国際ロータリーでは「国際理解、親善、平和を推進」

ですが、ロータリー財団では、「国際理解、親善、平和を達成」となっています。国際ロータリーで推進して、ロータリー財団で達成するという、ひとつの流れでもあります。ポール・ハリスの言葉で「親睦はロータリーの雰囲気の中で益々深まる。それは、ロータリーは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。」と親睦に関して申されています。

そこで、やはり、今年度の「イマジン ロータリー」というテーマの通り、未来を想像していかないといけないと思います。想像した先に何があるのか、色々と考えていきたいと思います。そこには「多様性、公平さ、インクルージョン」この DEI をイマジンする。多様性はロータリーの長年変わらない部分であり、中核的価値観のひとつであって、これが最大のロータリーの強みです。ジョーンズ会長は、ロータリーの文化が「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）」を体現していくには、多くのことを行う必要があると語っています。DEI のタスクフォースからのフィードバックと指針のもとロータリーは DEI へのコミットメントを強化し、ロータリーに関わる全ての人の貢献を大切に、公平さを助長し、人々を温かく迎えるインクルーシブな文化を作り出すことを目指しています。

ロータリーが人々を温かく迎え入れて、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、ジョーンズ会長が奨励する行動指針が 4 つございます。

1 つめは、ロータリーにおける DEI について、よく理解してくださいということ、2 つめは、DEI がなぜクラブや地域社会にとって大切なことなのか、DEI の原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解してくださいということ、3 つめは、DEI に対する認識を高めてくださいということ（地域社会を反映したクラブの DEI 委員会の創設を含む。）、4 つめは、クラブが地域社会で DEI に基づいて行動を起こしてくださいということです。

川越ロータリークラブは、みんなを温かく迎え入れる素晴らしいクラブだと思います。これは「心地よさ」と「配慮」だと思います。クラブの環境と体験が全ての会員と参加者にとって、本当に歓迎的で、インクルーシブで、楽しいものであるようにすることが大切だと痛感しております。調査によって分かっていることは、会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の手段であるということです。これは、会員と参加者が、このロータリーとの関わりから何を求めているかについて、耳を傾けて、理解をすることから始まります。

なぜ、退会者が出るのかをより理解するために、退会者アンケートを行うことも、すごく重要だと思うのですが、退会するまで待つ必要はありません。ジョーンズ会長も、新会員の要望や期待を理解するために、入会直後に入会者へのインタビューを行うことをクラブリーダーに強く促しています。全ての既存会員に、定期的にアン



ケート調査を実施することで、会員としての体験について意見や感想を伝える機会を与えることも重要と言われています。

2022 年の 4 月 10 日から 14 日まで、国際ロータリーの規定審議会がシカゴで開催されました。採択された 2 つの規定を紹介します。

ひとつは、会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件を削除する件が採択されました。もうひとつは、人頭分担金を増額する件です。まず、2019-20 年度は半年ごとに 34 ドル、2020-21 年度は半年ごとに 34 ドル 50 セント、2021-22 年度は半年ごとに 35 ドル、2022-23 年度は半年ごとに 35 ドル 50 セントです。今後、2023-24 年度は半年ごとに 37 ドル 50 セント、2024-25 年度は半年ごとに 39 ドル 25 セント、2025-26 年度は半年ごとに 41 ドルに増額されます。人頭分担金は、規定審議会によって改定されるまでは変更されないものとするとの記載もございます。

今年度の地区協調事項を 5 つ挙げさせていただきます。

1. 「適応と改革を推進」革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブ新設や変化をしましょう。
2. 「デジタル化の推進」ロータリー活動が止まることのないようハイブリッドを導入しましょう。
3. 「国際ロータリーで推進しロータリー財団で達成を目指す」地区補助金・グローバル補助金を活用し地域や世界とつながりましょう。
4. 「DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）を推進」さまざまな障壁を取り除きましょう。（インクルージョンは会員増強のカギ）
5. 「行動規範の徹底」ハラスメントをなくしましょう。陰口・悪口・誹謗中傷はなくしましょう。

最後になりますが、想像をしていただきたいと思います。クラブの 5 年後、10 年後もしくは 15 年後…、クラブ会員は増えていますか？時代に即した魅力あるクラブになっているのでしょうか？そのために、クラブは戦略計画を、そして未来計画を立てていただきたいと思います。

地域内にある他団体ともつながり、奉仕を実践していただきたい。人道的支援活動を実践するためにロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を是非活用し、地域社会さらには世界とつながりを持ち、ロータリーの目的である「知り合いを広めることにより奉仕の機会とすること」を実践していただきたいと思います。今年度、皆様と共に RI の年次目標達成のために、力を合わせていきたいと願っていますので、どうぞ 1 年間、よろしくお願いします。